


益田市の社協だより

Vol.260
2021年8月号

はあ〜てい

 この広報誌には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

今年もおいしい **麦** ができました(種)



益田市社会福祉協議会

本 所 〒698-0036 益田市須子町3-1 TEL: 22-7256 FAX: 23-4177
美都支所 TEL: 52-2392 FAX: 52-2716 / 匹見支所 TEL: 56-0374 FAX: 56-0387

種に新しいサロンが誕生しました！（種ひだまりサロン）

この春、種公民館の隣にある“ひだまり茶屋“に「種ひだまりサロン」が誕生しました。

種ひだまりサロンは益田市で初めて「介護予防・日常生活支援総合事業生活支援（通所型サービスB）」を利用して立ち上げたサロンになります。

毎週水曜日の午前で開催されていて、これまで「フレイル」や「笑いヨガ」を学んだり、駐在さんから防犯についての講話を伺ったりと、毎回いろいろなことに取り組んでいます。

種は小さな地区ですが、住民の方たちの実行力にはいつも舌を巻いてしまいます。

これからも社協は種の住民の皆さまに寄り添い、応援していきたいと思えます。

（東部圏域生活支援コーディネーター：河上）



サロンの始まりは元気いっぱいの体操から！



みんなでお茶を飲みながら世間話



笑いヨガではお腹から笑って盛り上がりました♪

種のおいしい 全粒粉をどうぞ

小麦をまるごと粉状にした全粒粉は、ふつうの小麦に比べて食物繊維やミネラル、ビタミンB群などの栄養素が豊富に含まれています。全粒粉を使ったパンは小麦のよい香りがしてすごく美味しいのです。種では作った小麦を全粒粉にして販売しており、今年も取れたての全粒粉をとてもお得なお値段で販売していますので、自家製パンを焼かれる方、興味のある方は種公民館（27-1008）までお問合せください。

地域の頼れるお助け隊!!（一般社団法人 安田地域づくり協議会）



雑草の生い茂る夏場、自宅の庭や周辺の手入れが大変な時期ですが、安田では高齢になる等、作業が困難になった住民に代わって、有償で草刈や伐採作業等を行ってくれる「地域お助け隊」が大活躍しています。

（一社）安田地域づくり協議会では、その他にも

- ・地区内の史跡や遺跡の整備
- ・地域の環境整備
- ・石見津田駅内「パンカフェはあと」の運営
- ・「やすだ村ええもん市」の開催

など多岐にわたった活動をしています。



まだ思うように活動できない面もありますが、安田の人たちが安心して暮らせるよう、（一社）安田地域づくり協議会の皆さんは今日も地区のどこかで頑張っているらしいです。

（東部圏域生活支援コーディネーター：河上）

一般社団法人 安田地域づくり協議会では
一緒に活動してくれる仲間を募集しています!

※有償ボランティアです。詳しくは安田公民館（27-0001）まで





令和3年度 市民後見人養成講座がはじまります！

8月12日木曜日より、市民後見人養成講座が開講します。認知症高齢者や精神障がい、知的障がいなどで判断能力が不十分なひとを支える『**成年後見制度**』。専門職だけではなく、地域のみんで支え合う『市民後見人』として活動をはじめませんか。

- * 今年度は自宅学習を取り入れる予定でしたが、全講座を対面学習で行うこととします。なお、出席できない講義に限り、DVD視聴での自宅学習が可能です。
- * ★印のついている講座は、その1講義だけ受講できるスポット参加も受け付けています。
- * 市内の新型コロナウイルスの感染状況によっては講座を延期もしくは中止する可能性があります。その際にはホームページ等でご案内いたします。

基礎コース

- <1日目> 8月12日 (木)
①成年後見制度について ②成年後見概論 ③市民後見活動の実際
- <2日目> 8月21日 (土)
④障がい者福祉 (★) ⑤高齢者福祉 (★) ⑥介護保険について (★)
- <3日目> 9月4日 (土)
⑦対象者の理解① 認知症 (★) ⑧対象者の理解② 精神障がい (★)
- <4日目> 9月18日 (土)
⑨対象者の理解③ 知的障がい (★) ⑩後見人の職務① 対応できない職務
- <5日目> 10月7日 (木)
⑪後見人の職務② 財産管理 ⑫後見人の職務③ 身上監護

フォローアップコース

- <1日目> 10月23日 (土)
⑬市民後見概論 (★) ⑭益田・鹿足成年後見センター (★)
⑮日常生活自立支援事業 (★)
- <2日目> 11月4日 (木)
⑯民法の基礎 家族法・財産法 ⑰家庭裁判所の役割
- <3日目> 11月13日 (土)
⑱相談援助技術について ⑲権利擁護について
- <4日目> 12月4日 (土)
⑳犯罪予防と消費者保護 (★) ㉑死後事務について ㉒成年後見概論②
- <5日目> 12月16日 (木)
㉓事例研究

※ 詳細につきましては、申込用紙もしくは益田市社会福祉協議会ホームページでご確認ください。



- 【場 所】 益田市総合福祉センター (益田市須子町3-1)
- 【対 象 者】 益田市内に住所を有する、もしくは職場が益田市内にいる23～70歳までの方で地域の福祉に貢献したいとお考えの方。
会場までの交通手段が確保できる方。
- 【定 員】 25名 (スポット参加を除く)
- 【参 加 費】 無料
- 【申 込 方 法】 所定の申込用紙が益田市社会福祉協議会本所・美都支所・匹見支所、各公民館に設置してあります。また、益田市社協HPからもダウンロードが可能です。ご記入後、お持ちいただくか、FAXまたは電話にてお申込みください。

お申込み・お問合せは

益田市社会福祉協議会 〒698-0036 益田市須子町3-1 (益田市総合福祉センター内)
TEL: 0856-22-7256 FAX: 0856-23-4177 担当・横田 (よこた) まで

指定管理事業・介護サービス事業等の適正な管理運営

① 指定管理事業

- 益田市総合福祉センター<本所>
- 益田市立匹見保育所<匹見支所>
- 美都地域高齢者福祉施設<美都支所>
- 匹見地域高齢者福祉施設<匹見支所>

② 在宅・施設福祉サービス事業
<本所>

- 指定居宅介護支援事業所
 - ・延べ利用者数 1,865名
 - 指定訪問介護事業所
 - ・延べ訪問回数 6,698回
 - 指定訪問入浴介護事業所
 - ・延べ訪問利用者数 1,174名
 - 高齢者世話付住宅(シルバーハウジング)生活援助員派遣事業 44世帯
- <美都支所>
- 美都町居宅介護支援事業所
 - ・延べ利用者数 463名
 - 美都町ホームヘルプステーション
 - ・延べ訪問回数 2,264回
 - 益田市立美都デイサービスセンター
 - ・延べ利用者数 3,572名
 - 益田市立特別養護老人ホーム 美寿苑
 - ・介護老人福祉施設 定床利用率 95.5%
 - ・短期入所生活介護事業 定床利用率 77.6%

- 益田市立老人ホーム 春日荘
 - ・養護老人ホーム 入所定員 50名
 - ・外部サービス利用型特定施設
 - 美都地域包括支援センター
 - ・延べ相談件数 298件
 - ・介護予防ケアプラン作成 延べ利用者数 234件
 - 配食サービス事業 延べ利用者数 1,256名
 - 外出支援サービス事業(移送サービス)
- <匹見支所>
- 匹見指定居宅介護支援事業所
 - ・延べ利用者数 483名
 - 匹見訪問介護事業所
 - ・延べ訪問回数 1,091回
 - 匹見指定もみじ通所介護事業所(もみじデイ)
 - ・延べ利用者数 2,190名
 - 匹見指定通所介護事業所(ふれあいデイ)
 - ・延べ利用者数 545名
 - 益田市立特別養護老人ホームもみじの里
 - ・介護老人福祉施設 定床利用率 95.3%
 - ・短期入所生活介護事業 定床利用率 58.0%
 - 益田市立匹見高齢者生活福祉センター ふれあいの園
 - ・定床利用率 66.7%
 - 匹見地域包括支援センター
 - ・延べ相談件数 203件
 - ・介護予防ケアプラン作成 延べ利用者数 448件
 - 配食サービス事業 延べ利用者数 1,179名

社会福祉法人等との連携・協働による地域公益活動の推進

- 益田市社会福祉法人連絡会の運営
- 社会福祉法人・福祉施設等との連携・協働による地域公益活動の推進
- 支えあいマスクバンク事業の新設
 - ・寄贈枚数 7,054枚 配布枚数 3,091枚

本会経営基盤の強化

- 組織統治体制の確立と機能強化
 - ・理事会(3回)、評議員会(2回)、監査会(2回)
 - ・評議員選任・解任委員会(1回)
 - ・苦情受付 受付件数 7件、解決件数 7件
- 職員の人材確保・育成・定着の推進
- 安定した財源確保と健全な財政運営
 - ・社協会費(一般会費・賛助会費・特別会費) 17,110円 14,401,000円
 - ・善意寄附金 113件 5,733,149円

令和2年度 益田市社会福祉協議会資金収支決算

| 収入項目 | | 支出項目 | |
|---------------|----------------------|------------------|----------------------|
| 会費収入 | 14,401,000 | 人件費支出 | 656,389,840 |
| 寄附金収入 | 5,833,149 | 事業費支出 | 231,885,898 |
| 経常経費補助金収入 | 94,717,362 | 事務費支出 | 60,474,381 |
| 受託金収入 | 326,041,044 | 利用者負担軽減額 | 0 |
| 貸付事業収入 | 1,136,000 | 貸付事業支出 | 535,000 |
| 事業収入 | 9,270,374 | 共同基金配分金事業費 | 12,435,699 |
| 負担金収入 | 257,430 | 助成金支出 | 14,536,678 |
| 介護保険事業収入 | 529,186,569 | 負担金支出 | 862,840 |
| 保育事業収入 | 1,428,245 | その他の支出 | 1,328,250 |
| 障害福祉サービス等事業収入 | 3,591,370 | 固定資産取得支出 | 1,442,190 |
| 受取利息配当金収入 | 9,476 | ファックス・リース債務の返済支出 | 5,749,056 |
| その他の収入 | 2,843,578 | 基金積立資産支出 | 594,118 |
| 積立資産取崩収入 | 70,000,000 | 積立資産支出 | 70,000,000 |
| 拠点区分間繰入金収入 | 53,225,634 | 拠点区分間繰入金支出 | 53,225,634 |
| サービス区分繰入金収入 | 46,052,211 | サービス区分繰入金支出 | 46,052,211 |
| その他の活動による収入 | 18,391,410 | その他の活動による支出 | 24,365,820 |
| 前期末支払資金残高 | 147,292,470 | 当期末支払資金残高 | 143,799,707 |
| 収入合計 | 1,323,677,322 | 支出合計 | 1,323,677,322 |

令和2年度 益田市社会福祉協議会事業報告 (R2.4.1~R3.3.31)

令和2年度は、国がすすめる地域共生社会の実現に向けて、また益田市と一体的に策定した「第3期益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の基本理念である『みんなで支えあい、助けあう福祉のまちづくり』の実現を目指して、本会のキャッチフレーズ『助けてよし、助けられてよし、そして共によし』のもと、本会の持つ総合力を発揮しながら各事業の更なる推進を図っていく予定でしたが、今般の世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業の中止、延期、縮小を判断せざるを得ない中での事業運営となりました。

特に、人と人との距離を十分に保ち、できるだけ人との接触を避けることが最大の感染予防とされるコロナ禍の中で、これまで人と人とのふれあい、つながり、支え合う仕組みづくりを推進してきました私たち社会福祉協議会としまして、また支援を切らすことのできない福祉・介護・保育現場においても、対応の難しさを痛切に感じたもどかしい一年となりました。その中におきましても、市民のみなさまには様々な面でご支援とご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。

<重点項目及び主な実施事業>

益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づいた地域福祉の推進

- 第3期益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進
- 益田市生活支援体制整備事業の実施
 - ・「益田市支え合いづくり協議体」の設置
- 福祉委員の再整備
- ふれあいのまちづくり事業
 - ・益田市社協・津和野町社協・吉賀町社協連携・協働による支えあいマップづくりの推進
- 地域福祉活動助成事業
 - ・助成団体数 4団体(助成総額 680,900円)
- 福祉バス運行事業
 - ・延べ利用団体数 42団体 延べ利用者数 573名
- ふれあい・いきいきサロン事業
 - ・新規サロン件数 5件 継続サロン件数 72件
- ふれあい・子育てサロン事業
 - ・新規サロン件数 0件 継続サロン件数 3件
- 福祉啓発・広報活動の充実強化
 - ・機関誌発行事業 社協だより「はあ〜てい」6回
 - ・社協ホームページ事業
- ボランティア・市民活動の振興と福祉教育の推進
 - ・福祉教育推進協力指定校への活動支援
 - 小・中・高・養護学校 27校(1,470,000円)
 - ・出前手話講座の開催
 - 小・中・高・養護学校 13校(受講者数 625名)
 - ・福祉出前講座の実施
 - 実施件数 16件(延べ受講者数 430名)
 - ・あいサポート運動の推進
 - 実施件数 17件(延べ受講者数 374名)
- 益田市ボランティアセンターの運営
 - ・ボランティア活動の促進・サポート
 - ・ボランティアに関する広報・啓発
 - 「ますだボランティア情報」年2回発行 等
- 災害発生に備えた被災者支援活動の推進
 - ・災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施
- 益田市社会福祉大会の開催
- 友愛メール事業による見守り活動<美都支所>
 - ・月平均発送者数 69.0名(延べ発送者数828名)
- 美都地域子育てサロンの開設<美都支所>
 - ・年4回(延べ参加者数 58名)
- 子育て用品レンタル事業<美都支所>
- 安心♡お買い物宅配サービス「匹見らくらく便」事業・「らくらくサロン」の開設<匹見支所>
 - ・らくらく便 登録 19世帯 延べ利用数 156回
 - ・らくらくサロン 開催数 3回
- 町民チャリティー発表会の開催<匹見支所>
- 小型除雪機貸出事業<匹見支所>
 - ・延べ3回



関係機関・団体等との連携・協働による総合的な相談支援体制の拡充

- あんしん生活支援センターによる包括的支援体制の充実・強化
- 総合相談事業
 - ・ふれあい福祉相談(相談件数 74件)
 - ・法律相談(相談件数 35件)
 - ・老人・ひとり親相談、電話訪問
- 生活困窮者自立相談支援事業
 - ・相談件数 178件 プラン作成 42件
- 福祉資金貸付事業
 - ・民生融金 23件(535,000円)
 - ・生活福祉資金 202件(74,781,000円)
- 入居債務保証支援事業
 - ・相談件数 9件 利用件数 12件
- フードバンク事業
 - ・支援件数 77件 品数 1,356件
- 日常生活自立支援事業
 - ・相談件数 1,786件 実利用者数 80件
 - ・新規契約件数 13件 支援回数 1,771回
- 法人後見事業
 - ・新規受任件数 6件 継続受任件数 9件
- 市民後見推進事業
 - ・福祉公開講座(15回) 受講者数延べ292名
 - ・市民後見推進事業・生活困窮者自立相談支援事業 合同講演会の開催 参加者数 68名

令和3年度 社協会費ご協力のお願いについて

昨年度も皆さまのご支援により、福祉事業を滞りなく展開できましたことを、心より感謝申し上げます。今年度も『誰もが安心して暮らせるまちづくり』を積極的に推進してまいります。

地域福祉事業推進のため、皆さまからのご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



【社協会費の種類】

- 一般会費：800円（地区社協・自治会を通して各世帯にお願いしております）
- 賛助会費：1,000円以上（社協役員、評議員、福祉関係機関・団体及びその役員、その他個人）
- 特別会費：5,000円（篤志家、会社、団体等）

【会費の使途】

講演会・研修会、出前手話講座、サマーボランティアスクール、その他『誰もが安心して暮らせるまちづくり』を進めるための各種事業の貴重な財源として活用されています。

【申込方法】

一般会員会費につきましては、各自治会を通じてお願いしております。その他賛助会員、特別会員のご加入につきましては、直接社会福祉協議会窓口もしくは下記連絡先までお問合せください。

【問合せ先】

益田市社会福祉協議会 TEL：22-7256 FAX：23-4177 まで

善意の輪（令和3年3月1日～令和3年5月31日） 敬称略

ご寄附ありがとうございます。地域福祉活動事業費や、福祉基金積立の原資として、大切に活用させていただきます。

| 【香典返し】 | | | 【香典返し】 | | | 【香典返し】 | | |
|-----------|-------|-----|-----------|-------|---------|-------------|--------|----------|
| 須藤三都歳 | 横田町 | 金一封 | (故) 永岡美智代 | 乙子町 | 金一封 | (故) 田原ミサエ | 美都町都茂 | 金一封 |
| (故) 美濃 俊一 | 西平原町 | 金一封 | 朽畠 宏樹 | 久城町 | 金一封 | (故) 金崎美壽子 | 美都町宇津川 | 金一封 |
| (故) 竹内 幸夫 | 中垣内町 | 金一封 | (故) 川本 閑子 | 下種町 | 金一封 | (故) 大谷 勲 | 匹見町紙祖 | 金一封 |
| (故) 大畑 博 | 高津五丁目 | 金一封 | (故) 石田 操 | 大谷町 | 50,000円 | (故) 河野 安昭 | 匹見町匹見 | 金一封 |
| 橋本 安司 | 小浜町 | 金一封 | 岡崎 茂喜 | 白上町 | 金一封 | (故) 水津 浪子 | 匹見町石谷 | 金一封 |
| (故) 河野 芳子 | 久城町 | 金一封 | 匿名 | | 金一封 | | | |
| 豊田 一成 | 上黒谷町 | 金一封 | (故) 西坂とみ子 | 元町 | 金一封 | 【一般寄付福祉事業へ】 | | |
| 田根 大介 | 土井町 | 金一封 | 塩満 昭夫 | 波田町 | 金一封 | 益田高校生徒会 | 七尾町 | 27,342円 |
| (故) 和田 忠美 | 神田町 | 金一封 | 渡邊 一行 | 赤雁町 | 金一封 | 竹中 真一 | 白上町 | 金一封 |
| (故) 佐々木 正 | 下種町 | 金一封 | 廣瀬 千歳 | 染羽町 | 金一封 | 祐益田自動車钣金塗装 | 東町 | 100,000円 |
| 秋吉 宣子 | 乙吉町 | 金一封 | (故) 中島 郭好 | 白上町 | 金一封 | ひまわり号実行委員会 | 横田町 | 200,000円 |
| (故) 山本 達雄 | 向横田町 | 金一封 | (故) 松岡 翼 | 高津六丁目 | 金一封 | 伊吹 繁則 | 美都町都茂 | |

あんしん生活支援センター

ふれあい福祉相談のご案内 8・9 月

| 相談 | 開催日 | 時間 |
|----------|-----------------------|-------------|
| 無料法律相談 | 8月はありません・9月10日(金) | 13:00~15:00 |
| ふれあい福祉相談 | 8月はありません・9月10日(金) | 10:00~15:00 |
| 老人ひとり親相談 | 8月27日(金)・9月10日・24日(金) | 10:00~15:00 |

どんなことでも、まずはご相談ください。
いっしょに考え、解決へのお手伝いをいたします。



お問合せ
ご予約

あんしん生活支援センター(益田市社会福祉協議会)

フリーダイヤル：0120-062-301 / TEL：22-7256 / FAX：23-4177 (月～金 8:30～17:30)

成年後見制度 啓発講演会 「高齢化する障がい者の親子を支援するためにできること」 開催について

【講師】江津市 相談支援センターえん代表 齋藤 建(さいとう たける)氏

今年度は**ひとまるビジョン**で**放映**します！！

令和3年度の「成年後見制度啓発講演会」は、市内で新型コロナウイルス感染症が拡大していることから、無観客での開催とし、後日ひとまるビジョンにて放映いたします。放映日程など詳細につきましては、決まり次第『はあ〜てい』や社協ホームページなどでお知らせいたします。



美都無料法律相談のご案内

場所:ふれあいホールみと

担当:おとよし法律事務所 弁護士 田中 秀樹氏

8/23(月)

13:00~15:00



※ 相談には予約が必要です。詳細はこちらまでお問い合わせください。

益田市社会福祉協議会美都支所 TEL: 52-2392

益田市社会福祉協議会
または TEL: 22-7256 まで



赤い羽根共同募金 助成伝達式



6月15日(火)『赤い羽根共同募金助成伝達式』が益田市総合福祉センターで行われ、15団体に益田市共同募金委員会の末成会長から「助成決定通知書」が手渡されました。団体へ配分された助成金は令和2年度に市民の皆様から寄せられた浄財で、各助成団体は令和3年度に様々な地域福祉活動などに有効活用する予定です。また、伝達式に合わせてみつわ工業(有)様に「島根県共同募金会会長感謝状」が贈呈されました。

天理教青年会様より
フードバンクにご寄贈いただきました。



天理教青年会様から「困った人への支援に役立ててください」と食品を寄贈いただきました。

青年会様からは、これまで複数回にわたり、200品以上の食品を寄贈していただいております。

天理教の皆様、どうもありがとうございました。

福祉バスの利用について

現在、益田市社会福祉協議会では、新型コロナウイルス感染症対策を施したうえで福祉バスの運行を行っております。(定員15名まで、市内運行のみ、利用時の検温・手指消毒の徹底など)皆様には不自由をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

11月の福祉バス利用抽選会は
8月10日(火)10時~です

<問合せ先>
益田市社会福祉協議会 22-7256



福祉体験を通じて



6月15日(火)、匹見中学校2年生3名が特養「もみじの里」で福祉体験学習を行いました。午前中、もみじの里はどんな施設か、高齢者を支えていくためには、どんな関わり方をすればいいのか学び、入所者と交流。午後は、疑似体験具・車いすを使って、身体機能の低下を体感しました。

中学生には何気ない日常生活が、高齢者にとっては難しいことがわかってもらえたと思います。

心と体を理解して、笑顔と温かい心で接する。この体験が、自分たちにできる事を考えるきっかけになり、「思いやり」や「心づかい」が「みんなに優しい街づくり」につながってくれたら嬉しいです。

(匹見支所：前田)



美都町はつらつ介護者の会

5月17日、美都町はつらつ介護者の会総会及び研修会が開催されました。

研修会では、中西公民館の豊田忠作館長を招いて「笑いヨガ」を体験しました。笑うことで得られる効果や、『ミックスジュース笑い』、『一万円札笑い』、『ライオン笑い』などたくさんの笑いヨガを教えていただき、会場に笑い声が広がりました。終わりには、豊田館長から「楽しくなれない時こそ、笑ってくださいね」との言葉がありました。

まだまだ生活しづらい日々が続いていますが、笑顔を忘れずに毎日をご過ごしたいものです。

(美都圏域生活支援コーディネーター：田村)



笑いで
コロナを
吹き飛ば
そう！



会員募集中♪

美都町はつらつ介護者の会に参加してみませんか？

美都町はつらつ介護者の会では、高齢者や障がい者を介護している方、介護経験がある方、または介護に関心がある方などを対象に、介護に必要な研修等の情報を提供しています。皆さんも美都町はつらつ介護者の会に参加してみませんか？

お問合せ先：美都町はつらつ介護者の会事務局 益田市社会福祉協議会美都支所内 TEL：52-2392 / fax：52-2716

発行：社会福祉法人 益田市社会福祉協議会 〒698-0036 益田市須子町3-1
 編集：益田市社会福祉協議会広報運営委員会 TEL：0856-22-7256 FAX：0856-23-4177
 社協e-mail:masuda_h@masuda-shakyou.or.jp

「はーてい」は英語で「心の温かい」、「真心のこもった」という意味をもつ「Hearty」の読みを日本語表記したものです。

社協ホームページ

益田市社協

検索